

研究に関するお知らせ

2020年4月10日

進行性下顎頭吸収・骨代謝連関におけるCCL5の病態および臨床医学的意義の解明

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院歯科・口腔外科では、以下にご説明する研究を行います。

この研究への参加を希望されない場合には、研究不参加とさせていただきますので、下記のお問い合わせ先にお申し出ください。また未成年者や認知機能低下者等においては代諾者からの研究不参加の申し出や問い合わせにも対応いたします。お申し出になられても、いかなる不利益も受けることはございませんのでご安心ください。

■研究目的・方法

私たちは、先行研究にて進行性下顎頭吸収（Progressive Condylar Resorption：PCR）を発症している患者群では血中のケモカインCCL5および骨代謝マーカーレベルが有意に亢進していること（未発表データ）、また、動物実験からCCL5が骨代謝の恒常性維持に必須であることを明らかにしました（Nature Communications 2017）。

そこで本研究では、臨床研究と病態モデル動物実験を統合して、PCR患者の血中CCL5レベルの診断あるいは病態把握マーカーとしての有効性や、薬剤治療標的分子としての可能性を探索します。

■研究期間

倫理審査委員会承認日～2023年3月31日

■研究の対象となる方

2009年3月～2012年3月に当科でPCR治療を受けられた方

■研究に用いる試料・情報の種類

以前採取した以下の情報を使うことがあります。

年齢性別のほか、顔貌所見・口腔内所見（残存歯の数、部位、形状、治療状況、咬合状態の評価など）・顎関節所見（開口閉口時の切歯路、関節雑音の有無、疼痛の有無など）・オルソパントモ X 線写真を収集しデータベース化します。また自己免疫疾患の併発例を把握するために、現在治療中の病気や使用薬、既往歴などを聴取します。また必要に応じて口腔内の印象採得、MRI 撮像、CT 撮影などを行います。

PCR患者の全身の骨・関節の所見も可能な限り記録し、必要であれば精査を行います。その上で、患者同意が得られた場合には、血液・尿などの検体採取を実施します。これら情報をもと逐次、PCRの再分類を試みます。患者の血液・生化学的・尿による

臨床検査に加え、細胞生物学的病理検査、骨形態学的検査、などを行い、健常人の検査値との比較検討を行います。

■利益相反について

利益相反の状況については NCGM 利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。本研究に関する研究全体及び研究者個人として申告すべき利益相反の状態はありません。

■研究計画書等の入手・閲覧方法・手続き等

あなたのご希望により、この研究に参加して下さった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。ご希望される方は、どうぞ記載のお問合せ先にお申し出ください。

■個人情報の開示に係る手続きについて

本研究で収集させて頂いたご自身の情報を当院の規定に則った形でご覧頂くことも出来ます。ご希望される方は、どうぞ記載のお問合せ先にお申し出ください。

■研究責任者：

国立研究開発法人国立国際医療研究センター 歯科・口腔外科 丸岡 豊

■お問い合わせ先

実施機関名	国立研究開発法人国立国際医療研究センター
担当者	歯科・口腔外科 診療科長 丸岡 豊
電話番号	03-3202-7181 (代表) 内線：5358
受付時間・曜日	月～金： 8:30～17:15 (金曜日午後を除く)